



## 安曇野日和

創刊号、23年7月発行

広報委員会

### 篠崎病院長より就任の挨拶です

#### 「以後 宜しく お見知りおきのほどを」

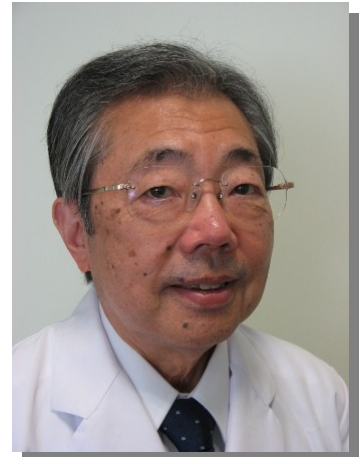
4月1日より薄井先生の後任となりました。新参者ですが、どうか宜しくお願い致します。まずは自己紹介から始めます。生まれは満州 大連で、4歳の頃引き上げ船で帰国しました。朝ドラのおひさまの時代です。

父は元軍医で、神奈川県横須賀の開業医でしたので、小・中・高は横須賀で過ごしました。医学部在学中の後半は、インターン学生運動の時代で、授業ボイコットでしたが、私は横須賀の米軍病院でエクスターンをしておりました。ベトナム戦争の最中で傷ついた米軍兵士が、精神的に病んでる姿を目の当たりにし、精神医学に興味を持ちました。医学部卒業後は、神奈川県立精神衛生センター、県立精神病院、県庁予防課精神衛生係を経験し、当時の精神衛生鑑定医となりました。

神奈川県での勤務中に、県内全精神病院での院内死亡者を対象に調査し、それを「精神障害者の死亡に関する記述疫学的研究」としてまとめ、博士論文としました。後にWHOフェローとしてイギリスに留学した時に「日英比較精神障害者の死亡に関する記述疫学的研究」としてこれを修士論文にしました。

その後、夢がかなってWHO職員となり中国、ベトナム、ラオス、カンボジア、南太平洋の島国から、オーストラリア、ニュージーランドを含む広大な西太平洋地域を管轄する精神衛生課長となりました。私としては、そのまま国連職員として開発途上国の精神保健対策に身を投じたいと考えていましたが、父が66歳で肺がんで急逝しましたので、長男の私は帰国せざるを得なくなりました。因みに父は、関守先生と大学同期の親友で今回のご縁に繋がりました。

帰国後は、厚生省の精神保健福祉課長、国立療養所課長、医療課長等 課長を6か所、そして障害保健福祉部長、科学審議官、保健医療局長、健康局長、医政局長と精神保健対策と係わりの深い部署を経験し、国立保健医療科学院長を6年勤め、40年にわたる公務員生活を終えて2年前に定年退官しました。



篠崎英夫 病院長

この2年間は神奈川県立保健福祉大学で精神医学と精神保健学の教鞭をとって居りました。

今まで、職業がら各地を転々としました。国内では広島と静岡で、それぞれ公衆衛生課長 衛生部長を、海外では、英国とフィリピンで生活をしました。松本は住んでみたかった町の1つでしたので、念願かなって幸せです。

創立以来125年の輝かしい歴史を持つ社会医療法人城西医療財団で、当院の発展に いささかでもお役に立てればと考えています。

趣味はウォーキング以外、特段のものはありませんが、中学・高校時代はバトミントン部、大学では水泳部と空手部で、空手は大学卒業後も町道場に通り3段まで行きましたが、今は、気の向いたときに型をきる位です。



# 安曇野日和

## 堀崎事務局長より 就任の挨拶です



3月1日付で城西病院より異動となり、濱前事務局長の後任の堀崎明浩です。よろしくお願いいたします。

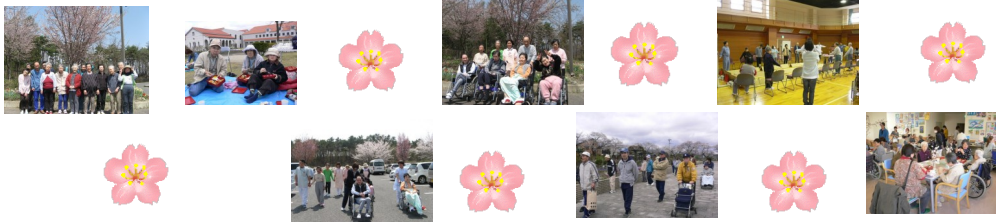
以前、一緒に働いていた人たちがたくさんいるので、大変心強いです。早く皆さんの顔と名前を覚えられる様にしたいと思います。

ミサトピア小倉病院も創立10年が経ちました。医療・介護を取り巻く環境が厳しくなる中、まずは病院の特色をアピールし、病病連携や病福連携を強化していきたいと考えております。また、地域交流にも参加していきたいと考えております。更なる10年後に向かって、地道に基盤を築いていきますので、皆様のご協力をお願いします。

## 各病棟で花見が開催されました。



花見に提供した  
桜弁当です



毎年、桜の季節になると、精神科の3つ病棟と介護療養病棟の4つの病棟が独自に思考を凝らして花見レクリエーションを開催します。バスに乗って豊科美術館へ行ったり、院内に咲く桜を散策したり、雨天により、外の桜の散策を諦め院内で桜を見ながらお弁当をご家族と一緒に食べたり、散策の代わりに体育館で運動のレクリエーション行ったりとさまざまでした。

今後は、患者様と職員のいろいろな作品を展示する会や盛りだくさんの屋台を出す秋祭りや歌謡ショーが繰り広げられるクリスマス会等の行事があります。

## バラの日(永年勤続表彰)



城西医療財団の各施設において、6月16日(木)に、永年勤続者を5年を区切りに表彰する「薔薇の日」が行われ、ミサトピア小倉病院では、5年5名、10年1名、15年4名、20年1名の職員が、篠崎院長より表彰状と記念品を受け取りました。そして、関理事長が平成23年度の長野県より保健衛生表彰(知事表彰)を受けたお祝いに、院長より花束が贈呈されました。渡す側と受け取る側とが、お互いに喜びを分かち合う微笑ましい光景でした。

編集後記: ミサトピア小倉病院というと、外来診療はなく、入院治療のみの精神科の病院で、いつでも中を見学できる場所でもないため、外部の方々にとって頂くなかなか機会がありません。そこで、少しでも内部の事を知って貰おうと言う事で、外部用の広報を作成する事になりました。今後は、内容のより充実した広報誌にしていきたいと思ひます。広報委員 樋口 孝